

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	ケアプラン作成について、アセスメントツールはMDSを使用し身体状況、医療面が詳細に把握されるが、生活支援で把握できない部分が多い。ケアプランが「医療、身体状況」、「生活の質」共に反映されるよう作成していく。	一人ひとりの思い、出来る事、「生活の視点」についても、ケアプランに組み入れる。	1. 各居室担当等から、日頃の会話の中や生活の中から本人の出来ることを見つけ、プランに反映させる。 2. センター方式も活用し、本人の思い等拾い上げ、プランに反映させる。	3ヶ月
2	19	家族との信頼関係に努めているが、施設側からの情報提供が足りない。	本人を家族と共に支えていく為に、家族との関係をより高く築き上げる。	1. 毎月家族に送っている定期便に、各担当から1か月の様子を加え、家族へ密に情報提供していく。	1ヶ月
3	51	空調管理が徹底されていない。	ホール、室内の温度、湿度を確認し、快適に過ごしてもらう。	1. 時間を決めて、温度、湿度の確認、調整し、快適に過ごしてもらう。 ※:湿度70%を超えた場合、出口、入口を開放し換気等を行う。 ※:温度20℃以下、28℃以上の場合、冷房、暖房調整する。 ◎時間帯:温度、湿度の確認は定期的に行い調整し、PM2時に記録する。	1ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。